

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|----------------------|
| 学校名 | 明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人明日香学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|---------|------------------------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 文化・教養課程 | ブライダル・ホテル観光学科 ブライダルコース | | 900 時間 | 160 時間 | |
| | ブライダル・ホテル観光学科 ホテル観光日本人コース | | 1110 時間 | 160 時間 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| | | 夜・通信 | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| 説明会で配布。その他、希望者には郵送にて公表 https://www.asuka-hw.ac.jp/jyouhoukoukai.html |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|----------------------|
| 学校名 | 明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人明日香学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

| |
|---|
| 当校ホームページにて https://www.asuka-hw.ac.jp/jyouthoukoukai.html |
|---|

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤 の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|--------------|----------|----------------------------|---------------------|
| 非常勤 | 設計事務所所長 | 令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日 | 法人の 経営アドバイス |
| 非常勤 | 食品製造会社会長 | 令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日 | 法人 コンプライアンス |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|----------------------|
| 学校名 | 明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人明日香学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| 1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 | | |
|---|--|--|
| (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) | | |
| 【取り組みについては次の通りです】 | | |
| 時期 | 過程 | 内容 |
| 9月・3月 (年2回) | カリキュラム編成委員会 | ブライダルとホテル業界の専門家を招き、本校のブライダル学科・ホテル観光学科のカリキュラムについて議論する。現場の意見を伺い、今後、改善していくべき講義内容や、講義方法について議論する。 |
| 9月・3月 (年2回) | 教務会議 | カリキュラム編成委員会で議論された内容を各講師に伝え、議論し、次年度の改善されるべき各講師の講義内容について話し合う。この内容をシラバスに反映させる旨を伝える。 |
| 3月後半 9月後半 | シラバス作成 | 教務会議で話し合われた内容を軸に講師自身の科目内容を吟味し、各講師がシラバスを作成し、教務部に提出する。 |
| 4月・10月 (授業開始) | シラバス公開 | 授業開始時にシラバスを学生に公開。また、教室内に掲示する。 |
| 授業計画書の公表方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページに公表 https://www.asuka-hw.ac.jp/jyouthoukoukai.html ・学生には入学者オリエンテーションにて配布。 | |
| 2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 | | |

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価

各学期末（前期・後期）試験の点数と平常点を加味した総合点で評価する。
評価の配分は、学期末試験 70%、平常点 30% で評価する。
平常点は、授業態度と教科の課題（小テスト・提出物）を基に評価する。

| 平常点 評価方法 合計 30 点 | | | |
|------------------|------|----------------|------|
| 授業態度 | 20 点 | 優秀（特に問題なし） | 20 点 |
| | | 良好 | 15 点 |
| | | 普通 | 10 点 |
| | | 改善必要 | 5 点 |
| 課題 | 10 点 | 優秀（しっかり勉強している） | 10 点 |
| | | 良好 | 8 点 |
| | | 普通 | 6 点 |
| | | 要注意 | 2 点 |

*出席率は平常点に含まれません。出席率 85%未満の学生は、試験を受けることはできますが、補習を受け出席率 85%にならない限り、試験結果は反映されません。

*試験結果が 60 点未満であれば、即追試。

*試験結果は 60 点以上だが、平常点が悪い為に、D（不可）になった場合は、特別課題提出。

・成績評価（各学期末試験の点数+平常点）

| | |
|----|-----------|
| AA | 100～90点 |
| A | 80～89点 |
| B | 70～79点 |
| C | 60～69点 |
| D | 59点以下 追試験 |

- ・各教科科目評価点 60 点以上の場合は、当該教科科目の習得とみなす。
- ・座学教科科目評価点 59 点以下の者は、当該教科科目の追試を受験する
- ・実技教科科目評価点及び追試考查点 59 点以下の者は、当該教科科目の補講を受講

する

- ・履修認定

各教科の 85%の出席をしていること。

学期末試験において 60 点以上を取得すること。

追試験において、60 点以上取得すること。

- ・履修方法
講義形式・実習形式

補習

- ・評価
各教科において、85%の出席率を満たしていない者は、補習を行う。内容は、担任教員が指定する。
- ・履修認定
教員の指定する課題を全て期間中に終了すること。
- ・履修方法
講義形式又は自習形式

学籍簿の評定は、各学期の成績表記載点の平均を付け、

AA (90 点以上)

A (80 点以上)

B (70 点以上)

C (60 点以上)

D (59 点以下) 追試検 60 点以上取得で進級、卒業 (1 回の追試で 60 点未満のものは追々試験)

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・評価の算出方法

履修科目の成績評価は、各教科を100点満点(学期末試験70%と平常点30%)とし、各教科の総合計を出し、その総合計を履修科目数で割ることにより平均点を算出し、評価とする。下記の表に当てはめて評価を決定。

$$\text{評価} = \frac{\text{各科目の点数の総合計}}{\text{履修すべき科目数}}$$

| | |
|---|--|
| 客観的な指標の 算出方法の公表方法 | 学校ホームページに公表 https://www.asuka-hw.ac.jp/jyouhoukoukai.html |
| 4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 | |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1, 卒業認定 建学の精神およびアドミッションポリシーに基づく教育方針に則り、社会に貢献する人材にふさわしい態度・知識・技能を有した者、さらに本校学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を科目群毎に修得したものに対し、専門士の称号を与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆感謝の気持ちを忘れない姿勢 ◆相手の気持ちを汲み取れる感性 ◆他人との違いを受け入れることが出来る人材 ◆独自の発想力を備える人 ◆資格取得に積極的に取り組む姿勢 <p>2, 卒業要件 (1) 学則で定める必要な単位数を履修していること。 (2) 各教科において85%以上の出席をしていること。 (3) 学期末試験において60点以上を取得していること</p> <p>3, 卒業の認定に関する方針の適切な実施 上記の卒業の認定に関する方針や、要件に沿った学生を卒業判定会議にかけ、卒業を認定する。</p> | |
| 卒業の認定に関する 方針の公表方法 | 学校ホームページに公表 https://www.asuka-hw.ac.jp/jyouhoukoukai.html |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|----------------------|
| 学校名 | 明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 明日香学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|------------------------------------|
| 貸借対照表 | 希望者からの請求に基づき学校備付の「財務・経営情報」ファイルを開示。 |
| 収支計算書又は損益計算書 | 希望者からの請求に基づき学校備付の「財務・経営情報」ファイルを開示。 |
| 財産目録 | 希望者からの請求に基づき学校備付の「財務・経営情報」ファイルを開示。 |
| 事業報告書 | 希望者からの請求に基づき学校備付の「財務・経営情報」ファイルを開示。 |
| 監事による監査報告（書） | 希望者からの請求に基づき学校備付の「財務・経営情報」ファイルを開示。 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|-----------|----|---------------------------|-------------------------------|-------------|-------|-------------|-------|
| 文化・教養 | | 文化・教養 専門課程 | ブライダル・ホテル観 光学科 ブライダルコース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1770時間 | 405時間 | 単位時間 /単位 | 660時間 | 単位時間 /単位 | 705時間 |
| 1770 単位時間 | | | | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 45人 | | 16人 | 0人 | 2人 | 17人 | 19人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 授業方法は講義・実習・実技をバランスよく行い、偏った修得内容にならないよう心掛ける。年間の授業計画は、年2回の教務会議において策定する。またカリキュラム編成委員会を年2回開催し、現在のカリキュラム、シラバスに関し評価し、変更、追加があれば提言をいただく。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 成績評価は、各学期末（前期・後期）試験の点数と平常点を加味した総合点で評価する。 評価の配分は、学期末試験70%、平常点30%で評価する。 平常点は、授業態度と教科の課題（小テスト・提出物）を基に評価する。 |

| 平常点 評価方法 合計 30 点 | | | |
|---|------|-----------------|------|
| 授業態度 | 20 点 | 優秀 (特に問題なし) | 20 点 |
| | | 良好 | 15 点 |
| | | 普通 | 10 点 |
| | | 改善必要 | 5 点 |
| 課題 | 10 点 | 優秀 (しっかり勉強している) | 10 点 |
| | | 良好 | 8 点 |
| | | 普通 | 6 点 |
| | | 要注意 | 2 点 |
| <p>* 出席率は平常点に含まれません。出席率 85%未満の学生は、試験を受けることはできますが、補習を受け出席率 85%にならない限り、試験結果は反映されません。</p> <p>* 試験結果が 60 点未満であれば、即追試。</p> <p>* 試験結果は 60 点以上だが、平常点が悪い為に、D (不可) になった場合は、特別課題提出。</p> | | | |

・成績評価 (各学期末試験の点数+平常点)

| | |
|----|-----------|
| AA | 100～90点 |
| A | 80～89点 |
| B | 70～79点 |
| C | 60～69点 |
| D | 59点以下 追試験 |

・履修認定

各教科の 85%の出席をしていること。
 学期末試験において 60 点以上を取得すること。
 追試験において、60 点以上取得すること。

・履修方法

講義形式・実習形式

補習

・評価

各教科において、85%の出席率を満たしていない者は、補習を行う。内容は、担任教員が指定する。

・履修認定

教員の指定する課題を全て期間中に終了すること。

・履修方法

講義形式又は自習形式

| |
|--|
| 卒業・進級の認定基準 |
| (概要) 多様な人間性の向上、コミュニケーション能力の向上、各種資格試験の積極的な受験と合格、就職・進学への意欲的な取り組みを総合的に判断する。 前述を踏まえ、学則に則り必要な単位数を取得している。 全科目3分の2以上の出席をクリアーしていること。 |
| 学修支援等 |
| (概要) 個人面談を月一回又は必要な時に行い生徒の状況を把握する。また、成績未達、授業日数不足の者については、追試・補習・補講を行う。 |

| | | | |
|--|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 10人 (100%) | 0人 (0%) | 10人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) ブライダル業界、ホテル、美容室・外食産業など | | | |
| (就職指導内容) 模擬面接 (オンライン含む) ・履歴書起案・企業研究について | | | |
| (主な学修成果 (資格・検定等)) ブライダルコーディネーター技能検定/マナープロトコール検定 /レストランサービス検定 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|---------------------------------------|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 16人 | 1人 | 6.3% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面接・カウンセリング | | |

| | | | | | | | |
|----------|---------------|-------------------------------|-------------|-------|-------|-------------|-------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 文化・教養 | 文化・教養 専門課程 | ブライダル・ホテル観 光学科 ホテル観光コース | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1830時間 | 945時間 | 時間 | 150時間 | 単位時間 /単位 | 735時間 |
| | | 1830 単位時間 | | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 45人 | 18人 | 8人 | 1人 | 17人 | 18人 | | |

| | | | |
|--|-----|----------------|-----|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| <p>（概要）授業方法は講義・実習・実技をバランスよく行い、偏った修得内容にならないよう心掛ける。年間の授業計画は、年2回の教務会議において、策定する。またカリキュラム編成委員会を年2回開催し、現在のカリキュラム、シラバスに関し評価し、変更、追加があれば意見をいただく。</p> | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| <p>（概要）</p> <p>成績評価は、各学期末（前期・後期）試験の点数と平常点を加味した総合点で評価する。評価の配分は、学期末試験70%、平常点30%で評価する。平常点は、授業態度と教科の課題（小テスト・提出物）を基に評価する。</p> | | | |
| 平常点 評価方法 合計30点 | | | |
| 授業態度 | 20点 | 優秀（特に問題なし） | 20点 |
| | | 良好 | 15点 |
| | | 普通 | 10点 |
| | | 改善必要 | 5点 |
| 課題 | 10点 | 優秀（しっかり勉強している） | 10点 |
| | | 良好 | 8点 |
| | | 普通 | 6点 |
| | | 要注意 | 2点 |
| <p>*出席率は平常点に含まれません。出席率85%未満の学生は、試験を受けることはできますが、補習を受け出席率85%にならない限り、試験結果は反映されません。</p> <p>*試験結果が60点未満であれば、即追試。</p> <p>*試験結果は60点以上だが、平常点が悪い為に、D（不可）になった場合は、特別課題提出。</p> | | | |

| ・成績評価（各学期末試験の点数＋平常点） | |
|----------------------|-----------|
| AA | 100～90点 |
| A | 80～89点 |
| B | 70～79点 |
| C | 60～69点 |
| D | 59点以下 追試験 |

・履修認定
各教科の85%の出席をしていること。
学期末試験において60点以上を取得すること。
追試験において、60点以上取得すること。

・履修方法
講義形式・実習形式

補習

・評価
各教科において、85%の出席率を満たしていない者は、補習を行う。内容は、担任教員が指定する。

・履修認定
教員の指定する課題を全て期間中に終了すること。

・履修方法
講義形式又は自習形式

卒業・進級の認定基準

（概要）多様な人間性の向上、コミュニケーション能力の向上、各種資格試験の積極的な受験と合格、就職・進学への意欲的な取り組みを総合的に判断する。
前述を踏まえ、学則に則り必要な単位数を取得している。
全科目85%以上の出席をクリアーしていること。

学修支援等

（概要）個人面談を月一回又は必要な時に行い生徒の状況を把握する。また、成績未達、授業日数不測の者については、追試・補習・補講を行う。

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 4人 (100%) | 0人 (0%) | 4人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) ホテル・旅館業 | | | |
| (就職指導内容) 模擬面接（オンライン含む）・履歴書起案・企業研究について | | | |

| |
|---|
| (主な学修成果 (資格・検定等) ホテルビジネス実務検定/マナープロトコール検定/レストランサービス検定 |
| (備考) (任意記載事項) |

| | | |
|---------------------------------------|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 11 人 | 1 人 | 9.1% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面接・カウンセリング | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------------------------------|-----------|-------------|-----------|-----------------------------------|
| ブライダル・ホテル観光学科 (ブライダルコース) | 100,000 円 | 650,000 円 | 355,000 円 | 施設費 200,000 円 休学期間中の納付金は 免除 |
| ブライダル・ホテル観光学科 (ホテル観光コース) | | | | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| JR 通学「保護者支援奨学金制度」・大分市内へ転居「保護者支援奨学金制度」 | | | | |

b) 学校評価

| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページにて公表 https://www.asuka-hw.ac.jp/jyouhoukoukai.html | | |
|---|-------------------------------------|----------------|
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 委員には、実務に関する見識を有する企業・施設の役職員及び本校卒業生で当該企業に籍を置く役職員が就任。現在、ホテル・ブライダル業界から各 1 名、ブライダル企業に勤務する本校卒業生 1 名の計 3 名により構成される。 委員は、自己評価委員会による教育方針・学校運営など 10 項目についての評価結果について評価を行う。 評価に基づき①短期的課題 (1 年以内) ②中期的課題 (1 年以上 3 年以内) ③長期的課題 (3 年以上) に区分し、全職員で改善に向けて取り組む。 【直近の開催】 令和 4 年 1 2 月 2 1 日 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| ホテル運営会社 【人事マネージャー】 | 令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 3 1 日 | 専攻分野関連 企業委員 |
| ブライダル会社 【会社代表】 | 令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 3 1 日 | 専攻分野関連 企業委員 |
| ブライダル会社勤務 | 令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 3 1 日 | 本校卒業生委員 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当校ホームページにて公表 https://www.asuka-hw.ac.jp/jyouhoukoukai.html | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

当校ホームページに公表

<https://www.asuka-hw.ac.jp/jyouhoukoukai.html>